



つながり つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和8年7月21日

第77号

江別市教育委員会

総務課・学校教育課

小5、小6の児童が中学校で貴重な体験をしました！ ～第三中学校区 小中合同新体力テストと中学校登校～

6月16日（火）に第一小の5年生が、18日（木）に北光小といずみ野小の5年生が、第三中の2年生と一緒に新体力テストの各種目を行いました。中学生が、ウォーミングアップの段階から励ましの声をかけてくれたり、やり方のコツを教えてくれたり、記録を測定してくれたりしました。おかげで、昨年度の記録を大幅に上回った子どもたちがたくさんいたようです。



中学生の励まし（第一小）

さらに、6月24日（水）と30日（火）には、小学6年生対象の今年度1回目の中学校登校が行われました。授業参観では、先輩の中学生が真剣に学ぶ様子を近くで見ることができました。また、授業の中で、中学校の先生から、小学校の学習内容がベースとなっていることについてのお話があり、6年生の子どもたちは小学校との違いだけでなく、つながりについても感じるすることができました。



中学生による測定
（北光小・いずみ野小）

体験授業では、中学校の音楽科と社会科の先生の授業を受けました。音楽科では、いくつかの音符に言葉を当てはめて、それに合わせてリズム打ちをしたり、強弱記号について学んだりしました。最後には、「くいしんぼうのラップ」という中学校の教科書に掲載されている曲を3つのパートに分かれてリズム打ちしました。楽譜を見て自分なりに考えて強弱をつける、友達と対話しながらイメージを膨らませる等、作曲者の表現を楽しむながら学ぶ活動を行い、中学校の音楽科の授業を体験することができました。



音楽科の授業
（北光小・いずみ野小）



社会科の授業（第一小）

社会科では、地図帳を使って、自分が知っている世界の国々の位置を調べたり、世界地図にある6大陸の位置を確認したりしました。また、世界地図を白い紙に書いて描いていく活動を通して、大陸や海洋、国・地域等の位置関係をつかんでいく学習も行いました。最後に、先生が黒板に大きな世界地図を描いてくれました。何も見ないであっという間に地図を描きあげていく様子を見て、こどもたちは驚いていました。



特別支援学級合同授業（第一小）

特別支援学級では、中学生と一緒に合同授業を受け、活動の中で先輩との交流も行っていました。

北光小といずみ野小は、給食をとり、休み時間も一緒に過ごしました。また、午後からは、いずみ野小の先生による道徳科の合同授業を受けました。個人で考える、友達と対話して多面的な見方に触れる等、主体的に深く学ぶ様子が見られ、他校の児童と共に学ぶよさが実感できる授業でした。



合同で学習する北光小といずみ野小の児童（道徳科）

中学校の学習や生活、部活動の様子がわかってよかったです！

～江陽中学校区 第1回中学校登校～

6月17日（水）に江陽中学校区で小学6年生対象の中学校登校が行われました。

今年度は、昨年度までの実施方法を大きく改善して行われましたが、改善点は、①豊幌小と江別太小が同じ日に江陽中を訪問して、2校で3つの仮クラスをつくる、②「中学校の授業参観」「中学1年生との座談会」「2つの小学校の交流を目的としたレク」の3つを体験するという2点です。中1ギャップの緩和と円滑な小中接続を図ることを目的に、小中や小小の先生方の連携を密にして、より子どもたちのためになる内容に工夫されていました。また、特別支援学級では、中学生と合同で授業を受け、自己紹介やモルックの体験を行いました。

実施後の子どもたちの感想を見ると、目的が十分に達成されていることがわかります。

【小学生の感想】

- 教室で中学1年生たちが真剣に英語などをやっていて、私も紙を見ないでみんなの目を見て、スラスラ言えるようになりたいと思ったし、中学生に早くなりたいなと思ったし、豊幌小学校の人とも仲良くなれたからとても楽しかったです。
- 中学校の1年生と3年生の英語の授業を見学して思ったことは、1年生は小学6年生とあまり授業の様子が変わらなかったけど、3年生の授業を見学したら全て先生が英語で話をしていて、しかもそれをみんなちゃんと聞き取れていてすごいなと思いました。座談会ではしっかり中学校のことを教えてもらえたので安心しました。学級レクでは豊幌小学校のみんなと触れ合うことができて楽しかったです。
- 学級レクでは、江別太小学校の人たちとも交流できました。授業見学では、小学生よりもちゃんと静かに真面目に授業を受けていました。座談会ではもうちょっと質問をしたかったです。
- 楽しみなことは、今日教えてくださった先輩や、一緒に話した江別太小学校の人と会うことです。



授業参観の様子



小中座談会の様子



小小の交流レクの様子



特別支援学級の合同授業の様子

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進

～中央中学校区 合同CS・地域学校協働活動推進事業～

江別市では、今年4月から「学校支援地域本部」が「地域学校協働本部」に移行され、「えべつ型CS」と「地学協働」の一体的な推進を図るモデルとして、中央中学校区（対雁小、中央小、中央中）による「地域学校協働活動推進事業」が今年度からスタートします。そのため、6月24日（水）に3CSの学校運営委員会が合同で開催されました。会議前半の「全体会」では、教育委員会生涯学習課と総務課による事業概要や学校運営委員会の合同設置についての説明が行われました。後半は各CSに分かれて「学校部会」が行われ、学校経営方針の承認や学校支援・学校評価の計画等についての熟議が行われました。10月からは中学校区に1名の「地域学校協働活動推進員」が配置され、パイプ役として、学校と地域の連携・協働や学校の働き方改革に資する活動のサポートを行っていく予定です。



教育委員会の説明



「中央小部会」の熟議



「対雁小部会」の熟議



「中央中部会」の熟議